



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第96号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2015年7月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

第71回日本ユネスコ運動全国大会in和歌山

—持続可能な平和のために—

2015年6月6日、7日と2日間にわたって、和歌山市民会館において、第71回日本ユネスコ運動全国大会が開かれました。大会テーマは、持続可能な社会づくりや平和についてでした。

また、特別講演「宇宙と子どもと平和」では、SF漫画「銀河鉄道999」などで知られる漫画家の松本零士さんが、戦争体験や自然に囲まれて過ごした少年時代について話しました。

2日目は、「歩きましょう！紀伊山地の霊場と参詣道」、和歌山大学のサイモン・ワーン氏による「和歌山の伝統文化」をテーマの講演と、紀伊山地についてのパネルディスカッションが行われ、世界遺産の魅力の世界にどう発信するか等、活発な意見が交わされました。



開会式の様子



ESDについての発表

第66回日本ユネスコ協会連盟定時総会開催

2015年6月20日、2014年度の事業報告や理事、評議員の選出、2015年度の事業計画など国内や海外のプロジェクトについての活動報告がありました。

開倫ユネスコ協会では、世界寺子屋運動の支援の一環で第16回KAIRINユネスコ杯ドッジボール選手権大会（2015年4月29日）の時の募金活動のお金や切手（書きそんじはがきを交換したもの）を渡しました。当日は、寺子屋のカブルオフィスの所長Yama Feroziさんが来日され、ユネスコの支援で元気に学校で学ぶ子供たちについて、御礼と共に現状報告をしました。



定時総会の様子



世界寺子屋運動への寄付の様子

開倫ユネスコ協会はネパール大地震の募金を行っています！

2015年4月25日、マグニチュード7.8の大地震がネパールを襲いました。ネパールでは、地震による混乱で、通常の生活が危機に陥っています。開倫ユネスコ協会は、ネパール大地震の被災者支援に協力しています。



読売新聞掲載記事 2015年5月13日



地震でほぼ全壊してしまった校外の中学校



パンデー・サパナ先生の学校／地震の前



地震直後の学校



地震で倒壊してしまった家

〔4枚の写真はサパナ先生の提供〕

書きそんじはがきを

集めています！

KAIRIN UNESCO ASSOCIATION

開倫ユネスコ協会

UNESCO (United Nations, Educational, Scientific and Cultural Organization)
国際連合教育科学文化機関



すべての人に教育を

ユネスコ・世界寺子屋運動

全世界の問題を一緒に考えてみよう

学校に行くことがあたりまえじゃない国がある。

世界には、学校に通えない子供が約6,700万人。読み書きができない大人が約7億9,600万人います。その全ての人々が教育を受けられるように始められた運動、それがユネスコ世界寺子屋運動です。

※日本の人口は約1億2,700万人

あなたにもできる 国際協力

書きそんじはがきを集めて送って下さい

★書きそんじはがき住所を書き間違えてしまった、古くて使えないなどの理由でポストに投函されていない未使用の官製はがきを、書き損じはがきといえます。

送り先 開倫ユネスコ協会 〒326-8505 栃木県足利市堀込町145 TEL. 0284-72-5915

お送りいただいた書き損じはがき1枚が……

- ネパールでは えんぴつ7本
- カンボジアでは 消しゴム2個
- アフガニスタンでは ノート2冊
- インドでは 石盤1個

世界中の非識字で悩む人々、教育を受けられない子どもたちの明日に繋がります。



ユネスコ・世界寺子屋運動は、人間の安全保障について考えます。そして、人々の心の中に、平和のとりでを築きます。